



小山田地区人権同和教育推進協議会 視察研修 H27年12月19日(土)

長野県の12月とは思えないくらい暖かで穏やかな日に恵まれ、参加者38名で「満蒙開拓平和記念館」・「妻籠宿」へ行ってきました。

満蒙開拓平和記念館 (まんもうかいたくへいわきねんかん)

戦前、日本から満州開拓団として約27万人の農業移民が中国東北地方に渡って行きました。20町歩の地主になれると夢抱いて渡った新天地でしたが、1945年8月9日突然のソ連侵攻で戦場と化した広野を逃げ惑い、飢えと寒さで大勢の方が亡くなりました。この歴史を風化させることなく後世に伝えるために2013年4月に開館された記念館です。皆さんがたくさん質問されて関心の深さを感じました。国の政策に振り回され、さらに戦争によって多くの犠牲が生じた現実をしっかり学び平和を願いたいと思います。

妻籠宿 (つまごしゆく)

江戸と京を結ぶ中山道六十九次のうち江戸から数えて四十二番目の宿場町で、中山道と伊那街道が交叉する交通の要衝として栄えました。島崎藤村の母の生家をたずねた人もいたようです。とてもいい陽気で、時折栗きんとんやおやきを買い求める人もおり、歴史を感じながらゆっくと散策できました。

